

会 議 録

会議の名称	平成 25 年度 第 3 回文化財審議会
開催日時	平成 26 年 3 月 26 日(水) 14 時 00 分～16 時 00 分
開催場所	水子貝塚資料館 講座室
出席者	水宮恒委員、横山亮英委員、梅野俊明委員、 大久保善郎委員、塩入たま江委員、松本伸行委員 事務局 (加藤生涯学習課副課長、堀主査)
欠席者	吉川節男委員
会議次第	1. 報告 (1) 水子貝塚復元住居修繕について (2) その他 2. 協議 (1) 今年度の文化財審議会検討事項 「文化財保護マスタープラン策定に向けた基本的な方針について」 (2) 富士見市文化財総合目録作成実行委員会について (3) その他
会議資料	① 水子貝塚公園 15 号復元住居修理の概要 ② 史跡現状変更等許可申請書 ③ 文化財保護マスタープラン策定に向けて (素案) ④ 富士見市文化財総合目録作成調査会議について
公開・非公開	公開 (傍聴人 0 人)
会議録確認	水宮委員

会議内容

あいさつ（議長、副課長）

1. 報告

(1) 水子貝塚復元住居修繕について

事務局より報告（協議終了後、現地視察）

(2) その他

- ・水子貝塚の樹木伐採に係る現状変更について

事務局より報告

2. 協議

(1)平成 25 年度文化財審議会検討事項

「文化財保護マスタープラン策定に向けた基本的な方針について」

事務局 今年度検討事項である文化財保護マスタープランに向けた方針について、前回協議してもらった意見をまとめてみた。

【富士見市文化財保護マスタープラン策定に向けて（素案）を事務局より説明】

事務局 前回協議してもらった富士見市を特徴づけるテーマ、またそのテーマに沿った項目（ストーリー設定）を確認し、意見を伺いたい。

委員 方向性をはっきりとしてきた。メインテーマ「水が育んだ文化 ～武蔵野の台地と低地に暮らす～」についても内容や地域性を伺わせ、絞れてきたのでよいと思う。

委員 良くも悪くも水と関連してきた歴史があるので、育むという言葉が適当か検討したほうがよい。

事務局 テーマに沿った項目（ストーリー設定）の内容についてはどうか。

委員 ストーリーを文化財といかに関連づけていくかが課題だと思う。

委員 物以外の風習・年中行事などの無形のものを取り入れたほうがよい。

委員 こうした郷土の歴史文化をいかに活用していくかも今後の課題である。

委員 難波田城公園で紙芝居を作って回っている人がいる。紙芝居やカルタ等は伝承要素が入っており、子供たちが郷土の歴史文化を学ぶには、適していると思う。過去には、郷土のカルタもあった。

委員 学校は、それぞれの地域の情報や自慢を学習し発信する機会をさがしている。行政がこうした試みを後押しすれば、郷土の歴史文化の普及活動は広がっていく。

(2) 富士見市文化財総合目録作成実行委員会について

事務局 富士見市の文化財総合目録作成について、事業概要・計画について説明する。

【事務局説明】

事務局 市民との協働による体制を考えているが、審議委員にも協力をお願いする。

